

パワーコンディショナの運転と停止

自立運転を開始するには

本機能は、停電が発生した際に、お客様が操作する必要があります。
自立運転を毎日行う場合は、毎日「運転切替スイッチ」の再操作が必要です。
そのままでは出力しません。

1. 運転切替スイッチを「自立」にする。[※] 自立ランプが点滅します。

[※] 製品底面中央カバーのビス(2本)を外し、「運転切替スイッチ」の「自立←停止→連系」にする。



操作後は必ずカバーを元の状態にもどしてください。
機器内部に水が侵入し、故障の原因となります。

2. 表示部に「STAAL」が表示され、 カウントダウンを開始します。



000000 は自立運転開始までの時間(秒)を表します。

1秒ごとカウントダウンし、終了後運転を開始します。

3. 運転開始後、自立ランプが点灯します。



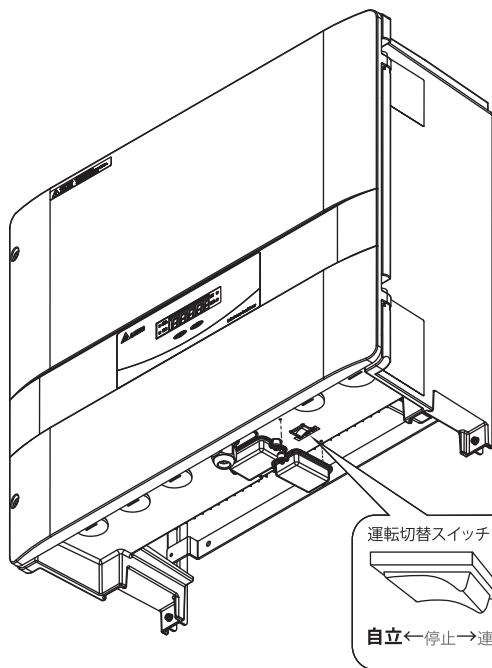
4. 自立運転コンセント[※]に電気製品の電源 プラグを差し込みます。



000000 は消費電力1.0kVAを表します。

[※] 自立運転出力端子台に接続された屋内停電用コンセント(別途設置工事を行った場合)

[※] 設置の際に表示設定を屋外(Out)にした場合、表示部が約20分後に消灯しますが、機能は働いています。



5. 日没後自動的に運転停止します。 表示部が消え、自立ランプが消灯します。



- 電気製品が接続されている場合、日没前もしくは日射が弱い時に「SF48」が表示されますが、故障ではありません。
- 翌日も自立運転を行う場合には、パワーコンディショナの「運転切替スイッチ」の「自立←停止→連系」を「停止」にし、再度「自立」にする。
- 自立運転を毎日行う場合は、同じ操作を毎日行ってください。そのままでは「W20」(太陽電池不足電圧検出)が表示され運転出来ません。

ご注意

- 太陽電池容量と日射条件により、使用できる電力が小さくなる場合があります。
- 停電から復旧した場合、お早めに連系運転に切り替えてください。



接続する機器の電力の最大が1.5kVA以内(AC100V最大15A以内)になるようにしてください。

接続する機器の電力が1.5kVAを超えた場合、または日射が弱く発電電力が使用機器の消費電力を下回る場合、表示部に「SF48」の点検コードが表示され、自立ランプが点滅します。

自立切替スイッチを一旦に「停止」にし、接続する機器を減らすか、日射が安定するまで待って、再度「自立」にしてください。